

感動!! 岩手・釜石が世界とラグビーでつながった日

世界中のラグビーファンが待ち望んだラグビーワールドカップ2019日本大会が9月20日(金)の日本代表の勝利で幕を開けました。

日本中が盛り上がる中、9月25日(水)には東日本大震災津波の被災地で唯一の開催地である釜石市の釜石鶴住居復興スタジアムにおいて、フィジー対ウルグアイの試合が行われ、スタジアムに国内外から多くの観客が訪れたほか、釜石市民ホールTETTOに設置されたファンゾーン、県内4カ所で開催されたパブリックビューイングにも多くの方々に来場いただき、両チームの闘志あふれるプレーにより、会場には多くの笑顔が溢れました。

岩手・釜石開催 試合結果 [釜石鶴住居復興スタジアム]

9月25日(水) 14:15キックオフ フィジー 27 対 30 ウルグアイ
10月13日(日) 12:15キックオフ ナミビア 対 カナダ(中止)

※10月13日(日) ナミビア対カナダの試合は台風19号の影響で「中止」となりました。

会場である釜石鶴住居復興スタジアムは、津波で被災した鶴住居小学校と釜石東中学校の跡地に建設され、「復興のシンボル」としても世界中から注目を集めました。9月25日の試合前には、釜石市内の小中学校の児童・生徒によるビッグフラッグでの感謝のメッセージが発信されたほか、地元の郷土芸能が披露されるなど、被災地を代表し、世界中からいただいた支援への感謝と復興に取り組む姿を国内外に力強く発信することができました。



ビッグフラッグ



9/25(水)フィジー対ウルグアイ

大会期間を通して釜石市内のファンゾーンや県内のパブリックビューイング会場に多くのラグビーファンが訪れ、「一生に一度」の大会を楽しみました。大会は11月2日(土)の決勝戦において南アフリカ代表の優勝で、全試合日程を終了しました。



10月13日(日)釜石鶴住居復興スタジアムで開催予定だったナミビア対カナダ戦が台風19号の影響により中止となりました。試合中止の決定を受けて、カナダ代表チームの選手やスタッフが釜石市内で住宅地に流れ込んだ土砂の掃除や濡れた家財道具の運び出しを行いました。率先して災害ボランティアとして被災した釜石市民のために活動してくれたことが、国内外のメディアで大きく取り上げられ、ラグビーワールドカップを釜石市で開催する意義についても広く発信されました。



また、ナミビア代表チームも同日に「市民を元気づける活動がしたい」とキャンプ地である宮古市長に申し出て、急遽、宮古駅等で市民との交流を行いました。

